

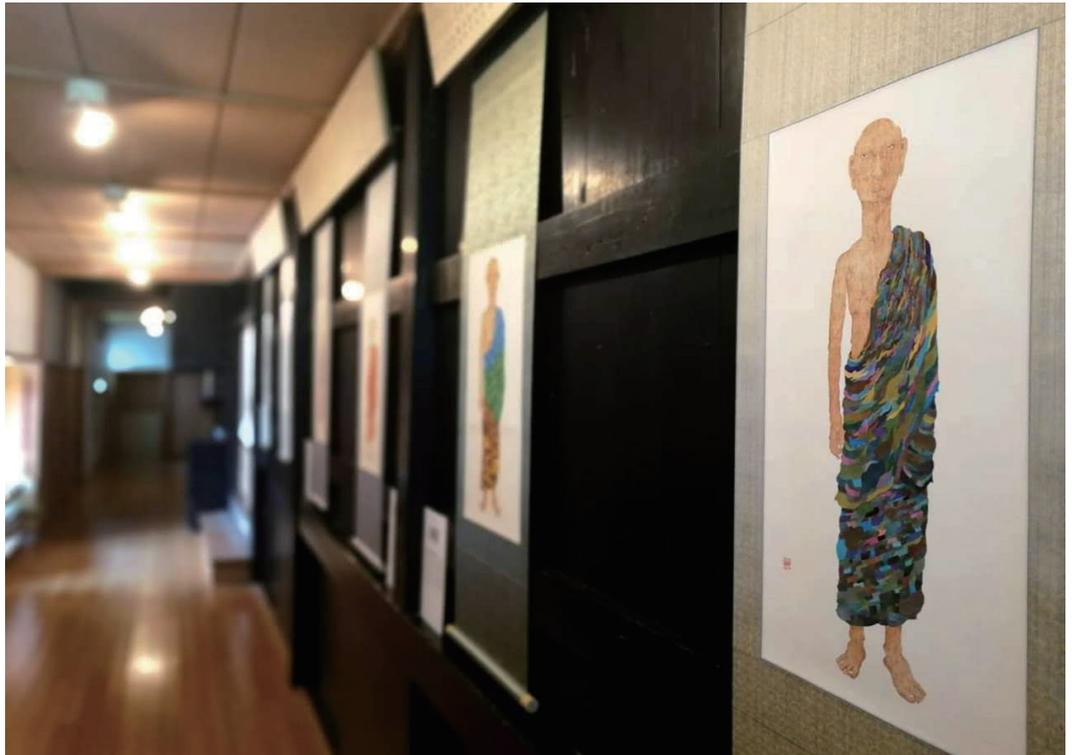
寺
ごよみ

十月

寺報
善巧
ぜん ぎょう

発行
〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765)65-0055
FAX (0765)65-0975
http://www.zengyou.net

- 一日 板屋おこう
- 二日 富山報恩講
- 七日 経田・窪野・柳沢 報恩講
- 八日 魚津報恩講
- 九日 東狐報恩講
- 一〇日 清掃奉仕
- 十一日 東狐報恩講
- 十五日 上野報恩講
- 一六日 三日市おこう
- 一七日 上野報恩講 報恩講準備
- 一九日 善巧寺報恩講
- 二〇日 善巧寺報恩講
- 二一日 板屋報恩講
- 二五日 板屋報恩講
- 二九日 飯野芦崎報恩講
- 三〇日 石田中新報恩講
- 三一日 石田中新報恩講



本堂の裏通路に釈迦十大弟子展示。法事や法要の折にどうぞご覧下さい。

親鸞聖人のご法要

報恩講

講師 川崎順正師

十月十九日 午前十時 午後一時半
十月二十日 午前十時 午後一時半

「死はゴール地点ではないのか？」
ほっこり法座でこんな問いをいただきました。それに対して、その日の講師であった日下賢裕先生はこんな返答を用意してくださいました。

死は人生のゴール、という受け取り方ですが、そのような受け取りを元に人生を歩むこともできるでしょう。しかし、それでは私達の人生のいのちというもの、一体何だったのか？という事にもなってしまいます。死がゴールならば、今すぐゴールしてもいいわけですし、苦悩の人生をわざわざ生きていく必要がなくなってしまうのではないのでしょうか。

仏教の目的は「私が仏と成ること」です。ですから、仏教におけるゴールとは、私が仏と成る、というところにあります。そのように私のいのち

死はゴール？

ゴールを置いてみると、この私の人生は、実は仏と成るためにあった、と意味が変えられていきます。これはどちらが正しい考え方かという事ではなく、どのような意味をもって、このいのちを歩んでいけるか、という違いがそこに表れてくるのだと思います。

法座では毎回アンケートを配布して、ふとした疑問や意見などを自由に書いてもらっています。無理に書く必要はありませんが、改めて「問いを持つこと」の大切さを教えられました。じつは答えよりも、問いを持つこと、そしてそれを外に出すこと自体に大きな意味を感じています。目を背けるための娯楽は数多くありますが、時には人生の問いに真正面から向かい合ってみませんか？

雪山俊隆

永代祠堂会

七月十六〜十七日

ご先祖の方をご縁につとまる永代祠堂会では、十年の間に葬儀のあった故人のお名前を貼り出して行う門徒総法要と、内陣法名の法要を午前午後に分けておつとめしています。

ご講師は七年ぶりに大阪より若林眞人先生にお越しいただきました。またまのご縁で半月後のほっこり法座にはご子息の唯人先生がお越しください、親子でお取次ぎいただきました。



若林眞人先生



お盆の行事

八月十二日の「こども盆踊り」は賑やかに、十六日の「お盆参り」は厳かに。今年も無事にお盆の行事が執り行われました。ご参加の皆さまありがとうございました。





パークゴルフ親睦会
今年の中ノ口緑地公園
パークゴルフ場で行われ
ました。天候に恵まれ、
みなさんにこやかにプ
レーを楽しみました。

七月五日



8/1 若林唯人先生



ほっこり法座、食後のティータイム



7/1 奥野寛暢先生



門徒会館雨漏り修復



夏休みのラジオ体操



赤ちゃんの100日参り



記念撮影



黒西組主催の夏休み企
画「キッズサンガ」が若
栗・真照寺で行われまし
た。善巧寺からは九名の
子どもたちが参加して、
ナゾトキゲームを楽しみ
ました。

キッズサンガ

七月二十九日



富山別院と勝興寺のイベントへ
僧侶DJで参加しました



本願寺月刊誌「宗報8月号」に寄稿しました



北日本新聞に取材を受けました

